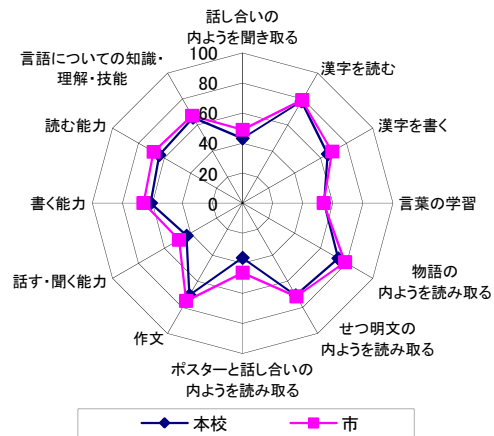


宇都宮市立岡本小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	43.1	48.8
	漢字を読む	78.3	79.3
	漢字を書く	65.3	68.8
	言葉の学習	54.2	53.8
	物語の内ようを読み取る	73.6	78.7
	せつ明文の内ようを読み取る	70.8	71.6
	ポスターと話し合いの内ようを読み取る	36.3	46.3
	作文	70.8	75.1
観点別	話す・聞く能力	43.1	48.8
	書く能力	61.1	65.9
	読む能力	64.0	68.4
	言語についての知識・理解・技能	65.8	67.2



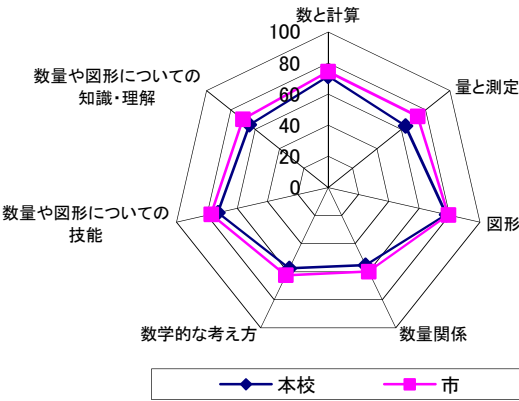
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・宇都宮市の平均正答率よりもやや下回っている。話の中心に気をつけて話を聞いたり、お互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合おうとしたりすることが不十分である。	・話を聞くときに、どんなことに気をつけて聞けばいいのか意識させながら学習に取り組めるよう指導の工夫を行う。また、自分の意見や考えと比較しながら聞いたり、2つの話の共通点や相違点を聞いたりして、聞く力を養う。
漢字	・漢字を読むは宇都宮市の平均正答率とほぼ同じだが、漢字の書きはやや下回っている。	・漢字の学習に繰り返し取り組めるように指導を工夫する。宿題などで、漢字の復習に取り組ませる。復習では、当該学年だけでなく、全学年についても取り組むよう指導する。
言葉の学習	・宇都宮市の平均正答率よりも高い。漢字辞典の使い方などが身につけている。連体修飾語についてはよく理解できているが、連用修飾語はやや不十分である。ことわざについても、市の平均正答率を上回っている。	・主語、述語などの文法について、授業の中で復習できる指導する。 ・ことわざについては引き続き、授業等で取り上げ関心を高めるようにする。 ・国語辞典などを身近に置き、常時利用できるよう学習環境を整え、必要な時に利用できるようにする。
物語の内ようを読み取る	・宇都宮市の平均正答率よりも下回っている。物語の場面の様子を読み取ったり、登場人物の気持ちの変化を読み取ったりすることが不十分である。	・読書に関心をもてるよう、指導を工夫する。 ・場面の様子や、登場人物の気持ちを読み取るときには、どんな言葉や文章からかを明らかにしながら学習できるようにする。
せつ明文の内ようを読み取る	・宇都宮市の平均正答率ほぼ同じである。目的に応じて細かい点に注意して読み取る力がついてきている。	・文と文のつながりに注意して文章を読むことができるよう指導し、内容や要旨についても読み取れるようにする。
ポスターと話し合いの内ようを読み取る	・宇都宮市の平均正答率より下回っている。資料を読み取り、内容を的確にとらえることが不十分である。また、読み取った内容を適切な言葉を使った文に書き直すことが苦手である。	・資料等を読み取れるよう、他の教科・領域でも取り上げながら学習を進める。また、分かったこと自分の考えなどを、適切な言葉を使って発表するなど日常的に意図しながらの指導を継続して行う。
作文	・宇都宮市の平均正答率より下回っている。指定に従い適切な段落構成で文章を書くなどの力はつきつつあるが、しかし、指定された長さで文章をまとめることは不十分である。	・自分考えや意見などを書く場面では、基本的な約束を意識させながら学習できるように工夫する。 ・指定された条件の中で自分の考えをまとめるような場を授業の中でも取り上げ、繰り返し練習できるようにする。

宇都宮市立岡本小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	71.4	74.5
	量と測定	63.5	73.5
	図形	78.0	79.2
	数量関係	55.3	59.9
観点別	数学的な考え方	57.7	62.5
	数量や図形についての技能	72.7	77.1
	数量や図形についての知識・理解	64.7	70.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・宇都宮市の平均正答率よりやや低い。かけ算とわり算、分数と小数の計算は比較的よくできている。しかし、数直線上の分数の読み取りや概数と概数に対応する範囲などについては、十分定着しているとは言えない。	・計算問題については、今後も復習を行いより正確な計算ができるように指導を継続する。億と兆の数・概数については、四捨五入による正しいの数の処理の仕方などの復習を行ったり、いろいろな場面で取り上げたりすることで定着を図る。
量と測定	・宇都宮市の平均正答率より低い。角の大きさの図り方はほぼ定着しているが、角の性質を利用して計算することが不十分である。また、面積も基本の図形から推察して求めたり、複合している図形の面積を求めることが十分ではない。	・角の性質の復習を行い定着を図り、計算して大きさが求められるように継続指導する。面積についても、複合図形の求め方について、図を使って分かりやすくし、いろいろな求め方があることに気付けるよう繰り返し指導する。
図形	・宇都宮市の平均正答率よりやや低い。二等辺三角形の作図は87%でほぼ定着している。球の半径から、球が3つ並んだ時の長さを求めることは十分ではない。	・円や球について、直径や半径などの性質について理解できるよう継続指導し、図などで球が並んだ時の様子を確認させる。コンパスなどの用具を使った作図についても随時取り上げ継続して指導していく。
数量関係	・宇都宮市の平均正答率よりやや低い。折れ線グラフの読み取りはほぼ定着してる。二次元表については読み取ることはできるが、それを利用することは不十分である。計算のきまりについては、四則の混合している計算の順序の定着が不十分である。	・折れ線グラフや二次元表については、その読み方だけでなく何を表してるかその意味についても考えられるよう継続指導する。四則の計算については、計算の優先順位について、その都度復習をしながら進め、反復練習となるようにする。